

弟子屈町中心市街地再構築事業について



基本構想 (2019.7～2020.3)

町、議会及び関係団体代表等28名で構成

本構想は、人口減少や年代構成の変化、地域経済の低迷と中心市街地の空洞化、公共施設や民間施設の老朽化等、**弟子屈町の課題の解決策のひとつとして**、中心市街地を交流人口拡大による地域と観光の交流拠点とするべく整備を検討するものです。

基本構想まとめ (基本構想より一部省略・抜粋)

■弟子屈町の目指す将来像～街全体～

- ①温泉のまち
- ②自然豊かなまち
- ③未来に希望が持てる、誇りに思えるまち
- ④世代を超えて交流できる、笑顔あふれるまち

■複合施設の基本理念と施設イメージ

- ①全ての町民特に若者や子育て世代が誇りと希望を持ち楽しいと思える場所
- ②町民・町外の方が交流し弟子屈を知る事が出来る場所
- ③経済性に配慮し持続可能な運営・経営を行い将来に負担を残さない

★温泉を中心的な機能に据える

町民会議では検討対象を段階的に絞りながら議論が進められました。まず**第一に街の将来像とそれを実現するための中心市街地の将来像が検討**されました。次に、中心市街地や営林署跡地に訪れる人や活動が構想されました。そしてその「訪れてほしい人」「起きてるとよい活動」を実現するために中心市街地や営林署跡地に必要な機能・施設が検討されました。検討過程では子どもたちを含めた全町民を対象としたアンケート調査も実施されました。

町民会議について

【町民会議の概要】		【町民会議の様子】
会議	ワークショップの内容	
第一回	弟子屈町をどんな街にしたいか。そのためには中心市街地をどんな場所にしたいか。	
第二回	中心市街地や営林署跡地にはどんな人に来て欲しいか。誰がどんな活動をしていると良いか。	
第三回	その人たちが訪れ、時間をすごし、活動をするためには、どんな場が必要か。	
第四回	機能やサービスのイメージを具体化。	
第五回	基本構想骨子について協議。	
第六回	まとめ	



施設イメージ～機能

2020.3.30 弟子屈町中心市街地再構築全体構想 策定

基本計画 (2020.4～2021.3)

2021.3案公表・パブリックコメント実施

基本計画の策定に当たっては、庁内連携会議を立ち上げるとともに、**具体的な検討については庁内連携会議ワーキンググループ**において行いました。

公共施設の現況の把握



庁内連携会議 (町長・副町長・教育長・関係課長等)	
庁内連携会議ワーキンググループ (担当課職員8名)	
【ワーキンググループの実施概要】	
会議回	主な検討内容
第1回	全体構想の確認、R2アクションプランについて、複合施設の想定とイメージ共有
参考施設調査	プール・図書館：北見市、置戸町、網走市、清里町 温浴施設：芦別市、遠軽町
第2回	複合施設の運営条件・サービス案
第3回	サウンディング調査に向けた運営条件の検討整理
第4回	整備条件案(第1稿)の検討整理
第5回	運営条件・整備条件案(第2稿)の検討整理

基本構想をもとにニーズ・アイディアを踏まえ、**現状施設利用状況を鑑みて必要な機能ごとに提供すべきサービスと施設規模を整理**し、効率的な運用を目指しつつ異なる施設を複合化することにより、より多くの人を惹きつけ、にぎわいのある施設となることを想定します。

施設規模・用途の設定 (設計要件)

概算工事費 (基本計画より)
約16.1億円

建築工事	2,746㎡	1,463,869千円
外構工事	9,000㎡	148,500千円

室名・項目	面積 ㎡	基本的な条件 (抜粋)
プール専用部	550	・ プール室は競泳用25m×3レーンとする
温浴施設 (浴室)	300	・ 男女別に洗い場、浴槽、サウナ、露天風呂を設置する
プール・温浴施設共用更衣室等	190	・ ラウンジホールからアクセスでき、男女別に浴室及びプールへアクセスできること
図書館	510	・ 開架書架50,000冊、閉架書架10,000冊を基準とする
共用部 カフェ等	610	・ ラウンジホールは利用者がリラックスして過ごせる場、屋内での各種イベントが実施できる場とする
その他	590	・ 事務所・総合受付、多目的室、テナントエリア (2区画)、機械室等
外構計画	9000	・ ポリューム配置、歩行者動線、緑化、駐車場、バス停留所などの条件整理

維持管理・運営に関する整理 (運営要件)

一定の自由度を設けることで、**民間事業者のアイディアを引き出します**。それにより集客増・収入増を見込み、町が負担する指定管理料等を同水準若しくは減少させる事で**ランニングコストの低減を図り、次世代に負担を残さないよう取り組みます**。

- ・類似事例等をもとに、各業務の内容を整理
- ・町の各種条例により、営業時間および料金体系想定
- ・利用者数や料金設定についてアンケート等により算出
- ・運営体制と事業モデルについて想定した想定事業収支算出
- ・上記検討に基づく維持管理費含む公共負担額の算出

営業時間	
温浴施設	営業時間：13時～21時 休業日：火曜日
プール	営業時間：10時～17時 休業日：月曜日・火曜日、祝日の翌日
図書館	営業時間：10時～18時 (火～金) 10時～17時 (土・日) 休業日：月曜日、第4金曜日、祝日

【本施設における方向性】

- ・営業時間の自由度を高める (以下は例)
 - 夜間の閉館時間を延長する
 - 休業日を移動する (施設全体の休業日を統一する等)
 - 開館日を短くする
 - 観光シーズン/オフシーズンと異なる営業時間/開館日数を設定する

温浴施設の利用者数		
種別	利用者数	
町内	大人	27,823人 既存施設の利用者数×1.2
	中人	1,121人 既存施設の利用者数×1.1
	小人	453人 既存施設の利用者数と同じ
町外	大人	44,013人 町外利用者の90%
	中人	2,445人 町外利用者の5%
	小人	2,445人 町外利用者の5%
合計	78,300人	

2021.3.26 弟子屈町中心市街地再構築基本計画 策定